



野木小学校だより

野ぎくの子

校長室から 2022/5/20

2022年度 学校教育目標

「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

【めざす児童像】

よく考える人・自分や人を大切にする人・チャレンジする人



新緑の中を名水公園へ

4月28日には、全校で天徳寺の瓜割名水公園まで校外学習に行ってきました。公園では、池の鯉や新緑の木々など思い思いの絵を描きました。お昼には学校へ戻りグラウンドや児童玄関前でお弁当を食べました。お弁当の後は、縦割り班ごとに6年生が企画した「だるまさんがころんだ」や「けいどろ」などの遊びを楽しみました。

さわやかな天候に恵まれ、楽しい1日となりました。



前期児童会役員の子



児童会長 6年 田中志歩さん

私がんばりたいことは、野木小学校をもっとよりよくしたいということです。そのために、いろいろな活動みんなが楽しめるようなきかくを考えていきたいです。

児童会副会長 6年 福井愛菜さん

児童会としてみんなで協力して野木小学校を盛り上げていきたいです。笑顔がいっぱいの野木小学校にするために、責任を持ってがんばりたいです。

「野木小学校のいいところは？」とインタビューすると、2人とも口をそろえて「みんな元気で仲のよいところ」と答えてくれました。また、いじめのようなものも今は全くないということで安心しました。反対に「野木小学校みんなにもっと頑張ってほしいところは？」と聞くと、「廊下を走らないようにしてほしい」ということでした。今後の活躍を楽しみにしています！

～6月のおもな行事予定～

- 6月 5日 (日) 体育大会 午前 保護者と下校
- 6月 6日 (月) **振替**
- 6月 8日 (水) 税金教室 (6年)
- 6月 9日 (木) プール掃除
- 6月12日 (日) 2年親子行事 14:00～
- 6月13日 (月) 町教育研究会 14:30一斉下校
- 6月14日 (火) 前期校内研究会 15:00一斉下校
- 6月16日 (木) 内科検診
- 6月17日 (金) 雲龍丸体験航海 (4年) 午前 世久見漁港発着
- 6月20日 (月) プール開き
- 6月29日 (水) 学校公開日 北陸新幹線出前講座 (※) 9:30～10:30



※福井県新幹線建設推進課の方に、全校児童を対象として北陸新幹線への関心や理解を高めるためのお話をさせていただきます。

保護者の方はもちろん、一般の方も興味のある方は御参観ください。

今日は、学校の目標についてお話します。4月のはじめに先生方みんなで野木小学校の人たちにどんな力をつけてほしいかを考えました。そして、一番大切なのはこんな力ではないかということになりました。それは「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」力です。

みなさんはこれから生きていくと、いろいろな問題に出会いますが、その答えは自分で考えて見つけ出さなければなりません。世の中に目を向けてみると、エネルギー環境問題や新型コロナウイルスなどのように、大人でも答がなかなか見つからない難しい問題があります。いきなりこのような大きな問題の答を見つけるのは難しいですから、まずは自分の身の回りにある小さな問題を見つけ、自分で考えて解決することを繰り返していきましょう。そうすれば、だんだんと難しいことを考えられるようになっていきます。例えば廊下や階段に小さなごみが落ちていたらどうしますか。誰に言われなくても拾って捨てることができたなら、立派に自ら考え行動したことになります。また、誰かが重い物を一人で大変そうに運んでいたたらどうしますか。これらのように自ら考え行動する場面は、毎日の生活の中にたくさんありますね。例えば、授業や学級活動、委員会活動、クラブ活動などでは、先生方に聞くときに、「次は何をしますか?」とか「どうしたらいいですか?」などとすぐに聞くのではなく、「次は〇〇をしましょう」とか「こうしたらいいと思います」などと、自分の考えを伝えるようにできるといいです。先生やお家の人に言われる前に、まずは自分で考える練習をしていると、少しずつ「自ら考え 自ら行動する力」がついてきます。

自分で考え行動する前に一番大切にしたいのが、「自ら問う」ということです。これには2つ意味があって、1つ目は先ほど言ったように、ごみが落ちているのを見つたり、誰かが困っているのに気付いたりというように、自分で問題を見つける、問題に気付くということです。2つ目は、勉強の時に「なぜかな?」「あれっ!」と思うことです。これから、お勉強の時にどんどん言ってほしい言葉を紹介していきます。それは、「どうなるとるんやろ?」「不思議だな!」「もっとくわしく知りたいな」などといった言葉です。勉強の時には、こんな言葉を遠慮せずどんどん言ったり思ったりしてください。これが「自ら問う」ということです。簡単に言うと「はてな?」をたくさん見つけようということです。はてなをたくさん見つける、つまり自ら問うクセがついてくるととてもかしこくなれますよ。この前に4年生の社会の授業を見ていたら、先生が「福井県の県庁所在地は福井市ですが、石川県は? 北海道は?」などと質問をされて、「金沢市」「札幌市」などと答えていましたね。そしたら誰かが、「東京都の県庁所在地はどこですか?」という質問をしました。東京都は「県庁」ではなく「都庁」なのですが、これは素晴らしい問いだと思いました。授業でこんな「はてな」がたくさん出てくると、みんなで広がりや深まりのある学習ができますね。



自ら問い
自ら行動する
自ら考え

ところでみなさんは誰かが発表したときに「分かりました」とか「同じです」とよか「いいです」などとよく言っていないですか。実はこれはあまり言わない方がいい言葉です。たくさんの方が「分かりました」と言うと、あまり分からないときに「分かりません」と言いにくくなってしまいますね。または本当は分かっているのに、みんなに合わせて「分かりました」と言ってしまったことはありませんか。同じように、たくさんの方が「同じです」と言うと、ちがう意見の人が言いにくくなってしまいます。じゃあどうすればよいのでしょうか。そんな時は、だまってウンウンとうなずいていればそれでいいのです。反対にどんどん言ってほしい言葉は「分かりません」「ちがいます」などです。そしてさらにみんなで考えれば、分からない人が分かるようになり、分かっていた人は一層くわしく分かるようになれますね。分からない時に「分かりません」、ちがう時には「ちがいます」と恥ずかしがらずに、堂々と言えるような学級や学校にしていきましょう。

最後に一言、この立派な美しい字は泉先生に書いていただきました。(拍手)